

# CASA新聞

発行 株式会社カーザミカワ  
岡崎本社 ☎0564-24-2511  
岡崎市吹矢町8番地  
豊田営業所 ☎0565-28-3891  
豊田市豊栄町6丁目1番地

## 「休廃業」が7年ぶりに増加

### 建設業の「休廃業・解散」は2.7%減 TDB調べ

帝国データバンクは1月20日、経営実体を確認されていた企業の休廃業・解散を集計し、倒産件数との比較や傾向を分析した。全国「休廃業・解散」動向調査の結果を発表した。2019年（12月）の「休廃業・解散」件数は2万3634件（前年比2.6%増）となり、3年ぶりの増加に転じた。中でも、経営者が自主的に経営や事業を畳む「休廃業」（1万2764件）の件数が2012年以来7年ぶりに増加した。業種別では、全7業種中5業種で前年を上回った。最多件数の建設業は前年比2.7%減の7087件だった。業種細分類別で件数が最も多かったのは「木造建築工事」（1231件、前年比5.8%減）。次いで、「非営利的団体」（961件、同1.1%増）、「土木工事」（694件、同4.4%増）、「不動産代理・仲介」（564件、同3.1%増）、「土木建築サービス」（432件、同4.4%減）と続いた。上位20業種中12業種を「建設業」が占めた。代表者の年代別に見ると、リタイア適齢期に当たる「70代」が7197件（構成比37.6%）となり、3年連続で最多。集計可能な2000年以降でも最も多かった年齢は「71歳」で過去最高を更新した。

## 国交省20年度予算

国交省は1月21日、2020年度予算概要を公表した。これまで通り、災害復旧・復興、安全・安心確保、生産性向上、そして豊かで暮らしやすい地域づくりの4本柱に変わりはなく、中でも頻発・激甚化する自然災害や巨大地震に対応するため、「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」を集中的に実施する。また東京五輪後の持続的な成長を目指すとともに、消費税増税後の需要変動対策も講じる。国費総額の一般会計は5兆9311億円（前年度比1億円で、臨時横ばい）で、臨時特別の措置（8051億6500万円）を含めると6兆7363億円（同0.14%増）。財政投融资は2兆4555億円（同0.03%増）。19年度補正予算でも国費総額の約9割を災害復旧・復興に充てたように、本予算でもこれまで地震に加えて水害対策も盛り込まれる。また、豊かで暮らしやすい地域づくりにおいては、コンパクト・プラス・ネットワークを推進する。既に19年7月末で約480都市が居住や都市機能の集約を計画し、272都市が公表している。自然災害が頻発し、防災・減災の観点からもコンパクトシティの必要性が増している。ハード整備とともに、

## リフォーム申請が急増

### 予算は83%が未消化 次世代住宅ポイント12月分

次世代住宅ポイントの申請戸数が急増している。特にリフォームの伸びが著しく、2019年12月分は単月で3万2669戸（前月比74.7%増）と、前月より1万3967戸も増加した。新築は1万9175戸（同41.6%増）となり、両者の19年7月以降の累計は12万3208戸。ただリフォームが多いため戸当たりポイント数が少なく、発行額は予算の83%に留まっている。同制度は19年7月に始まり、19年10月の消費増税を契機に新築も増加傾向にある。本来は増税の反動による新築着工減を抑えるための制度、持ち家の着工は減少傾向を辿っている。しかし業界関係者からは、「同制度がなければ着工はもっと減っているのではないか」という見方もある。そうであれば再びポイント反動減も危惧される。19年12月までのポイント申請累計は新築が6万1255戸、リフォームが6万1953戸。12月にリフォームが急増して、10月の消費増税を契機に新築も増加傾向にある。本来は増税の反動による新築着工減を抑えるための制度、持ち家の着工は減少傾向を辿っている。しかし業界関係者からは、「同制度がなければ着工はもっと減っているのではないか」という見方もある。そうであれば再びポイント反動減も危惧される。19年12月までのポイント申請累計は新築が6万1255戸、リフォームが6万1953戸。12月にリフォームが急増して、

## 名古屋商況

東海4県の2019年新設住宅着工戸数は11万764戸（前年比1.3%減）で、貸家の低迷から5年ぶりに前年実績を下回ったものの、前年に続いて11万台を維持した。このうち木造を中心とする持ち家（注文住宅）は前年比2.9%増、分譲住宅は同12.3%増と実績を伸ばした。東海地区の今年の景気は大きく落ち込むとは予想されていないが、住宅関係で持ち家が昨年8月から前年同月を下回るペースが続いており、不透明感が強い。プレカット工場では新規受注が一服しており、ムードはいまひとつ。まだ春期の需要が出ていない」（愛知の工場）木材製品も買い急ぎは見られず需給は安定しており、価格は国産材・輸入材ともに横ばいで推移している。東海4県の12月新設住宅着工戸数は8710戸で2カ月ぶりに減少。持ち家は3276戸で5カ月連続で減少。分譲住宅はマンションが落ち込み、2134戸と8カ月ぶりに減少。

表示説明	値下げ	横ばい	値上げ
市況状況	ファルカタ薄ベニヤ		
	ファルカタ正寸12mm T2		
	針葉樹12mm 3×6		

不要期で川下は補充買い姿勢に後退し、メーカー出荷も順調なため納期問題はほぼなくなつた。東海4県の12月新設住宅着工戸数は8710戸で2カ月ぶりに減少。持ち家は3276戸で5カ月連続で減少。分譲住宅はマンションが落ち込み、2134戸と8カ月ぶりに減少。